

IT活用を広げるためのコツ

～コンテンツ活用をきっかけに～



鳥取県 倉吉市立東中学校

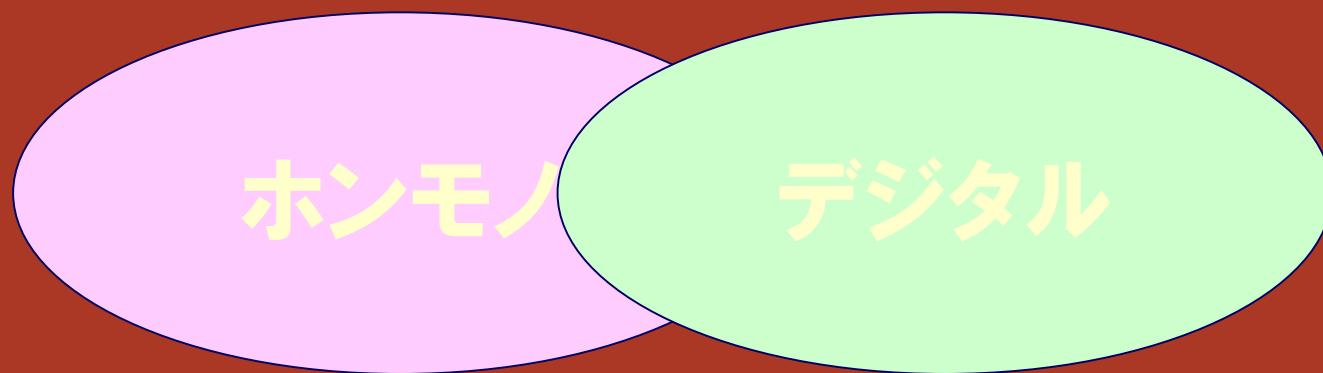
岩崎 有朋

ものが見えるしくみの学習

今まででは…

教科書 + (あれば標本)

現在は…



見てわかる
触ってわかる

シンプルで
わかりやすい

これがホンモノだ！



ブタの眼球

これがホンモノだ！



眼球内のレンズ



レンズとガラス体

これがホンモノだ！



眼球の内側(前部)
中央から光が入る



眼球の内側(後部)
黒いのが網膜

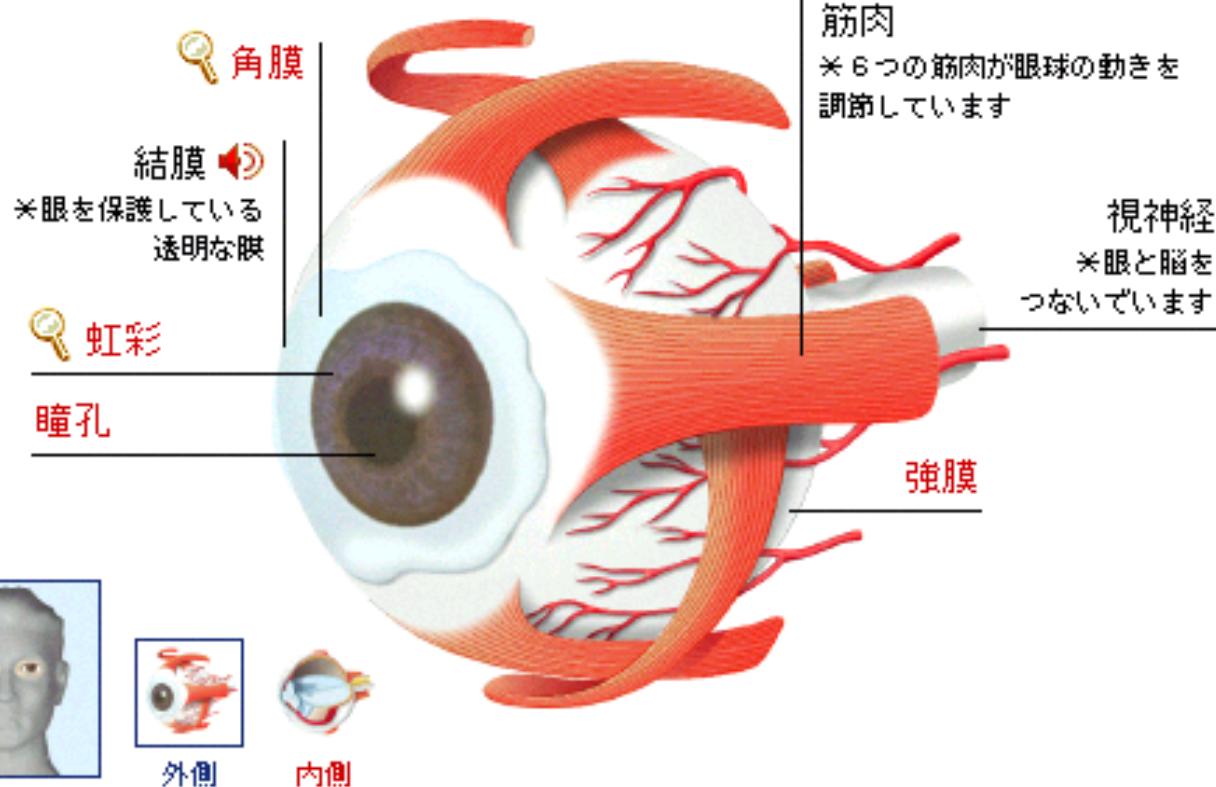


眼の構造



眼は、身のまわりの情報を収集し、その情報を脳へ伝え、集められた情報から眼に見えるすべての像を脳が把握します。眼球は、球形をしており、やや突き出ています。眼球のうち、虹彩(こうさい)、瞳孔(どうこう)、角

膜は外から見えますが、他の部分は頭蓋(とうがい)の中に入っています。また眼球を動かす筋肉は、眼球を所定の位置に固定し、眼球の動きを調節しているのです。



外側

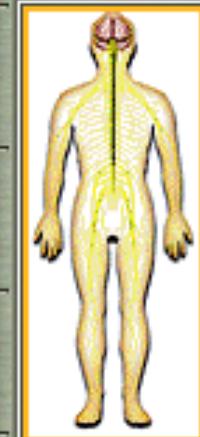


内側



システムスキャナ

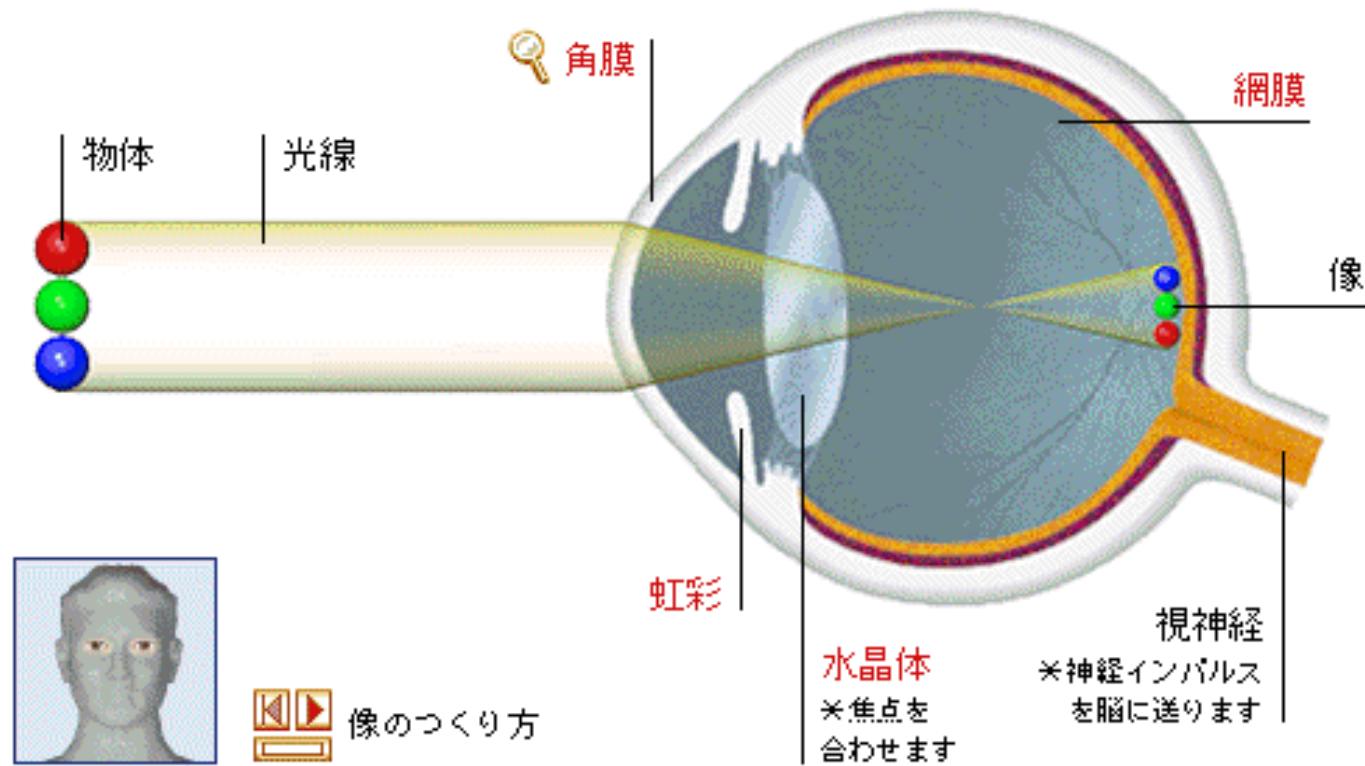
神経系



ものを見る

のを見ることができるのは、眼球の中に入ってくる光によるものです。眼球の外層表面の角膜と、水晶体(すいしゅうたい)は、眼球に入ってくる光を屈折させます。そして見ているもののからの光を、網膜(もうまく)

上に集め、像をつくります。ただし、こうしてできた像は、逆さまで、実際より小さめなものです。網膜はこの情報を脳に送り、脳がこの像を識別して、見ているものが何かを判断します。



! ラボラトリー

システムスキャナ

神経系

※神経インパルスを脳に送ります

パワーポイントでフラッシュ・カード

Microsoft PowerPoint - [化学式(達人編)]

ファイル リスト ビュー 検索 タブ ツール フォント ヘルプ

検索を入力してください

1 化学式徹底攻略(達人) スタート

2 酸化銅 00:03

3 CO₂ 00:03

4 酸化銀 00:03

5 水 00:03

6 CuCl₂ 00:03

7 NH₃ 00:03

8 水酸化ナトリウム 00:03

9 MgO 00:03

10 塩化銅 00:03

11 CuO 00:03

12 酸化マグネシウム 00:03

13 前半終了だあ！後半もまちがえないようにがんばれ 00:03

14 塩酸(塩化水素) 00:03

15 水酸化ナトリウム 00:03

16 NaOH 00:03

17 H₂O 00:03

18 硫化鉄 00:03

19 アンモニア 00:03

20 Ag₂O 00:03

スライド一覧 新しいワーキングセッション

スタート 愛機トレイ Microsoft... 3 Microsoft Office P... フォーポイント社会 18:00

理科での活用

- ◆ 化学式の学習
- ◆ 化学反応式の学習



パワーポイントを
使った教材

社会科での活用

- ◆ 県庁所在地の学習
- ◆ 前時の復習
(ショートストーリー化)

活用のイメージを自分の教科に

社会科の学習の振り返り

Microsoft PowerPoint - [戦後の民主化①]

ファイル E 編集 V 表示 I インサート O ツール T スライドショー R ウィンドウ W ヘルプ H
質問を入力してください X

1 2 3 4 5

1945年8月15日
ボツタム宣言を発表し
日本の敗戦が決まった

連合国軍總司令部
GHQ



日本を民主的
な國にしなくて
は…

農地改革

6 7 8 9 10

東京裁判



地主 小作

この地主の土地を
闇が奪い上げ、小作人に
安く売渡す政策を
何というでしょう。

財閥解体

財閥

11 12 13 14 15

財閥解体

1946年に公布された
憲法を何というでしょう。

日本国憲法

日本国憲法をもとに
教育基本法
などの法律も制定された

標準デザイン

スタート E-mail Microsoft OFFICE パワーポイント社会 2年生通知票 100% 1809

本校職員の現状

コンピュータ操作 ・・・・・・・100%

ワープロ、表計算、インターネット

プレゼンソフト、ファイル共有 2つ以上の操作

ITを活用した授業 ・・・・・・・85%

・イメージ補完のためのコンテンツ利用

・動画コンテンツを授業のまとめて活用

・電子黒板に書き込みをしながら授業をする。

など

校内の操作研修なし



各教科での活用に広がる



見込みユーザーの攻略

魅せる

自分の話を聞いてもらう

読ませる

相手に関する資料を渡す

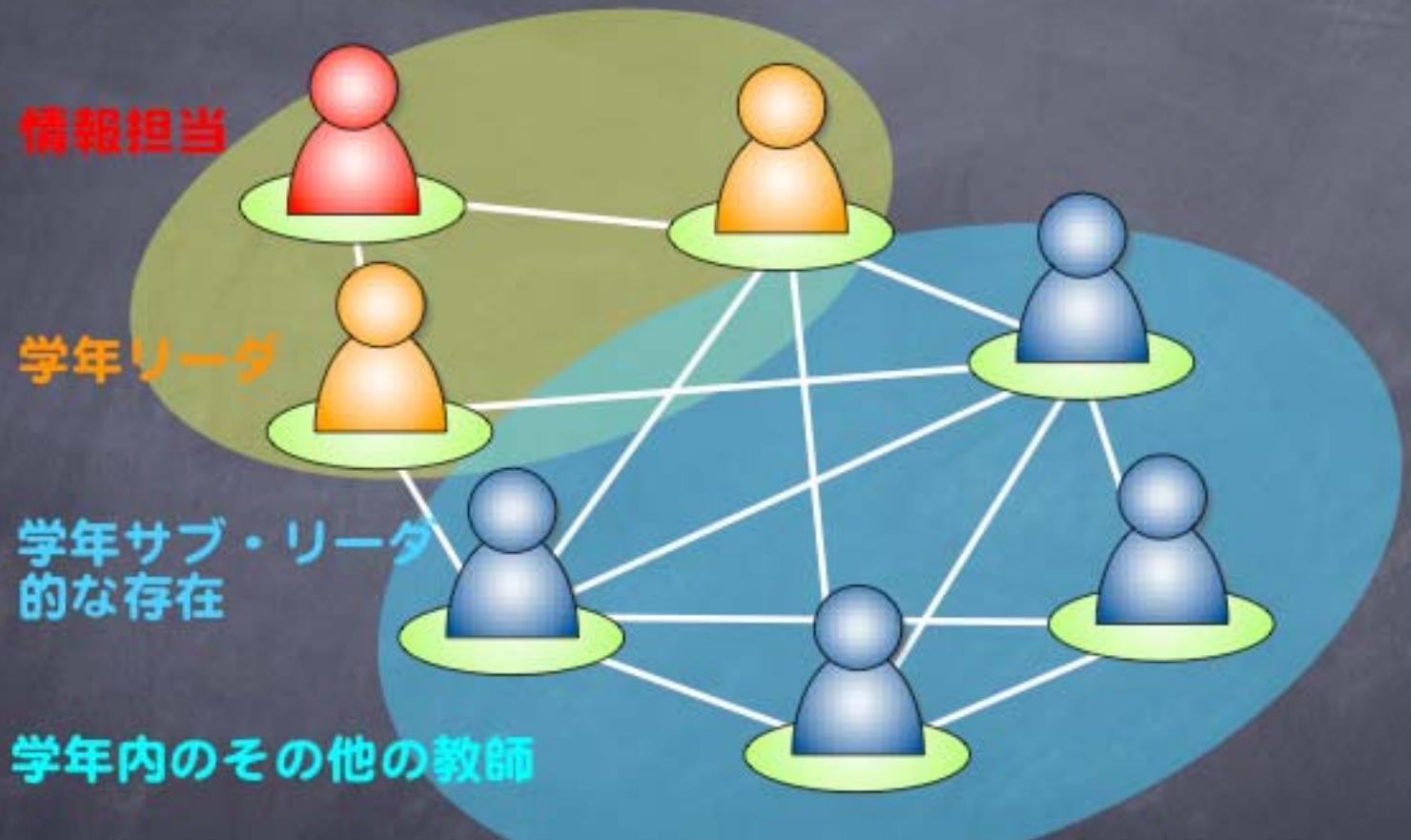
試させる

コンテンツなどを使ってみる



「できそうだなあ」「やってみようかなあ」と言わせる

現在は並列的な構造をもつ組織に変化



「誰かが」「すぐ」「手短に」応えてくれる
→トラブル時には誰かに聞く(80%以上)
→対応できる範囲での教え合い・学び合い

コーチ役が寄り添うことで安心して活用できる

